

事務事業名	真岡コンピュータ・カレッジ支援事業				担当	産業環境部 商工観光課 勤労者係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285-83-8134		
施策名	05	雇用の促進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	職業能力開発促進法施行規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和63 年度～）		
予算科目	1.一般会計	5.労働費	1項	1目		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	真岡コンピュータ・カレッジを運営する職業訓練法人真岡情報処理学園に対して運営費を補助金として支出する。昭和62年、地域雇用対策の意義を含めた情報処理技術者養成施策が緊急経済対策の中で発表されたのを受け、真岡市を含めた宇都宮テクノポリス圏域において情報処理に関する技術者不足が深刻になることが予測されるので、情報処理関連技術者等の確保と教育訓練の振興を目的に、国に対して働きかけを実施し、全15校のうちの1校として真岡に開校した。建物と機器類は国(雇用・能力開発機構)が設置した。体育館・学生食堂は市が整備した。学科は、プログラム設計科50人 終了年限2年。取得資格は基本情報管理者、応用情報技術者等。主な収入は、授業料、会員企業からの会費、市の運営補助金である。平成21年に国が独立行政法人雇用・能力開発機構の解散を決定し、市としては平成23年3月で閉校とし、校舎について無償譲渡を受けた。清算事務及び卒業生に対する各種証明書の発行を行っていく。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 ・補助金交付事務 ・閉校にあたっての調整事務  23年度計画 廃止	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	補助金額	円	49,540	55,582	64,272	37,194		
	イ								
	ウ								
	エ								
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡コンピュータ・カレッジ	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	真岡コンピュータ・カレッジの学生数	人	76	72	59	27		
	イ								
	ウ								
	エ								
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 情報処理技術を身につけた人材の確保	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	真岡コンピュータ・カレッジの卒業生	人	37	39	32	27		
	イ								
	ウ								
	エ								
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市内事業所における人材の確保	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア	市内事業所に採用されたカレッジの卒業生		10	7	9	8		
	イ								
	ウ								
	エ								
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	49,540	55,582	64,272	0	0
			事業費計(A)	千円	49,540	55,582	64,272	0	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	0	0
			延べ業務時間	時間	3	3	3	0	0
			人件費計(B)	千円	13	13	12	0	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	49,553	55,595	64,284	0	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和62年、国が緊急経済対策を発表し、市は、市内企業等の情報処理技術者育成のため、真岡コンピュータカレッジの設置を要望した。昭和63年に第3セクターである職業訓練法人を設置し、学生募集開始。平成元年4月に真岡コンピュータ・カレッジ開設。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	定員充足率30%の当該カレッジは、独立行政法人雇用・能力開発機構業務としては、平成23年3月31日までに廃止することが決定された。設立母体である「独立行政法人雇用・能力開発機構」が、平成23年3月31日までで廃止されることが閣議決定され、これを受けて、平成21年度の生徒募集の中止し、平成22年度末をもって閉校。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 情報処理技術者の育成し、妥当である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 情報処理技術者を育成し、地域の産業の振興に資することは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 情報処理技術者を育成し、地域産業の振興に資することは適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 対象が平成23年3月で廃止となる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 対象が平成23年3月で廃止となる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？  ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 対象が平成23年3月で廃止となる。  <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 対象が平成23年3月で廃止となる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 対象が平成23年3月で廃止となる。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象が平成23年3月で廃止となる。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 平成23年3月で真岡コンピュータカレッジが閉校に伴い、当該事業は廃止。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							